

## 令和7年度「ゆき軽トラ朝市」開催決定!

6月21日(土) 7月19日(土)  
8月12日(火) 9月20日(土)  
10月18日(土) 11月15日(土)

会場 RE-CREATE BASE  
(旧油木百彩館) 駐車場特設会場  
時間 9:00~11:00



「ゆきの灯り5月号」にて「第3金曜日開催」としていましたが、今年度は「第3土曜日開催」(8月除く)に変更となりました。

## 令和7年度「油木協働支援センター通常総会」開催

4月30日(水)、神石高原町長入江嘉則様を来賓に迎え、「令和7年度油木協働支援センター通常総会」を開催しました。

油木協働支援センターでは各事業(概要は下記参照)を通じて、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を模索・推進してきました。

それらひとつひとつの積み重ねが、「第77回優良公民館(文部科学省表彰)(全国65館という結果につながったのではないかと思います。(地域の方々の文化的・精神的な面の活性化を図ることも、地域づくり・まちづくりの大きな目的のひとつです。)

今年度も各事業の実施を通して、住民同士の多様な活動と交流や、学びと学んだ成果を生かした「地域活性化」が図られるよう、取り組んでいきたいと思っております。

建設的で積極的なご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 『令和7年度「大人の教室」開催予定』

- アートクラブ (6月~ 5回講座)
- 油木お花畑教室 (6月~ 3回講座)
- スマホ写真教室 (7月~ 4回講座)
- パン教室 (9月~ 4回講座)
- 蕎麦打ち教室 (12月~ 2回講座)
- チョコレートレッスン (2月 1回講座)
- 味噌作り教室 (3月 1回講座)

※現時点での予定です。変更の場合もあります。  
※新講座開講に係る、希望・情報等があればご連絡ください。

令和7年度「油木協働支援センター通常総会」は、構成員3分の2以上の出席があり議案は賛成多数ですべて承認されました。



# ゆきの灯り

第101号

令和7年6月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228

生涯学習マスコット: マナビイ



ご存じですか?  
**6月は「食育月間」です**

—食育とは—

○生きる上での基本であり、「知育・徳育・体育」の基礎となるべきもの。  
○「食」に関する知識、選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てる。  
(食育基本法より)

~毎月19日は「食育の日」~

### —令和6年度 主な事業報告—

- 福祉部
  - 高齢者在宅支援事業実施 (サロン活動必要品購入助成)
  - 子ども食堂事業支援実施 (12回)
  - 視察研修 (福山市) 福祉
  - ドローン体験教室開催
- 農商推進部
  - ゆき軽トラ朝市開催 (6回)
  - 防草ネット支援事業実施
  - 花いっぱい運動助成事業実施
  - ウッドチップ貸出事業実施
  - 有害鳥獣駆逐用花火安全講習会開催
- 地域づくり部
  - 市場マップ作成開始
  - 視察研修 (福山市) 地域情報
  - 視察研修 (高梁市) 移住定住
- その他
  - 幹事・農商推進部・地域づくり部合同研修会開催 (新規就農者の確保で持続可能な村づくり)

- ゆきなび (生涯学習) 部
  - 「にしかわ化石館」運営
  - 化石で参講座開催 (尾道市)
  - 視察研修 (岡山市) 化石魅力化プロジェクト
  - 神社映像保存
  - 文化イベント開催 (カラオケ大会・コンサート)
  - 「油木匠展」開催
  - 視察研修 (三次市) 文芸復興プロジェクト
  - ゆきキッズ・大人の教室開催
  - 「学社連携・融合」事業実施
  - 月・水・金 (11:00~19:00)
  - 「小さな展示室」(「日々是好日展」開催)
  - 「ゆきの灯り」12回発行
  - 協働のまちづくり事業助成 (4回)
  - 10月開催 (約1200名来場)
  - 文部科学大臣表彰 (全国65館)
- 分室「にしかわ」運営
  - 広報紙発行
  - まちづくり活動支援
  - ゆきふるさとまつり
  - 優良公民館表彰

### —令和6年度 通常会計収支決算報告 (単位:円)—

#### 収入の部

前年度繰越金	9,057,972	町交付金	28,343,000	町補助金	13,048,624	合計
負担金	204,120	雑収入	113,231	にしかわ会計収入	102,117	50,869,064

#### 支出の部

振興会補助・助成	9,959,000	振興会長報酬 振興会運営補助金	事業負担金	140,306	センター連絡会事業
職員人件費・福利厚生費	10,454,942	職員人件費 社保等共済費 福利厚生費	備品購入・修繕費	551,320	金庫 パソコン ホワイトボード 等
報酬・手当	770,000	役員報酬 活動手当	補助金・助成金	14,145,236	協働のまちづくり事業 花いっぱい運動 町道等美化事業 等
旅費・交通費	15,600	職員出張旅費	ふるさとまつり運営費	1,341,592	
その他経常費	1,506,716	消耗費 通信運搬費 使用料 燃料費 手数料 等	交際費	20,000	研修費負担金
事業費	220,623	福祉部(子ども食堂含む)	車維持・管理費	128,435	保険料 車検 バッテリー交換
	609,262	農商推進部	公民館保険	72,000	
	86,475	地域づくり部	予備費	10,000	その他の経常費へ流用
	1,135,755	生涯学習(ゆきなび)部	合計	42,694,406	
にしかわ運営費	1,527,144	にしかわ運営費 化石館運営費			



令和6年度ゆきふるさとまつり (令和6年10月27日)

一令和7年度 通常会計収支予算（単位：円）一

収入の部

前年度繰越金	8,174,658	町交付金	28,296,000	町補助金	13,048,624	合計
負担金	130,000	雑収入	115,718	にしかわ会計収入	100,000	49,865,000

支出の部

振興会補助・助成	9,864,000	振興会長報酬・振興会運営補助金	事業負担金	150,000	センター連絡会事業
職員人件費・福利厚生費	14,219,000	職員人件費 社保等共済費 福利厚生費	備品購入・修繕費	650,000	買い替え 修繕 等
報酬・手当	800,000	役員報酬 活動手当	補助金・助成金	14,817,224	協働のまちづくり事業 花いっぱい運動 町道等美化事業 等
旅費・交通費	30,000	職員出張旅費	ふるさとまつり運営費	1,500,000	
その他経常費	1,725,000	消耗費 通信運搬費 使用料 燃料費 手数料 等	交際費	20,000	謝礼 慶弔見舞金 等
事業費	400,000	福祉部	車維持・管理費	150,000	保険料 等
	990,000	農商推進部	公民館保険	72,000	
	310,000	地域づくり部	予備費	727,776	
	1,740,000	生涯学習（ゆきなび）部	合計	49,865,000	
にしかわ運営費	1,700,000	にしかわ運営費 化石館運営費			

一令和7年度 主な事業計画一

□福祉部

生活に根差した支援事業を、包括的に協議し実践する。

- 高齢者支援（活動支援等）
- 子ども食堂支援
- 自主防災活動（地産地防プロジェクト）

□農商推進部

地域農産物の販路確保や、特産品開発の支援を行う。

農地保全の対策として、担い手の労働力不足対策と鳥獣害対策を行う。また、地域の景観保全を行う。

- ゆき軽トラ朝市（6回）
- 特産品開発
- 農地保全対策
- 景観美化活動

□地域づくり部

油木地区の空き家バンク登録推進活動を行い、町の定住推進事業と連携する。

油木地区の歴史・文化の継承活動を行う。

- 移住推進・定住促進
- 地域情報収集（市場マップ）

□ゆきなび（生涯学習）部

学習を通じて、

- 絆（仲間づくり）をつくり、地域の連帯感を醸成する。
- 文化的・経済的な向上、地域の教育力の活性化をもたらす。
- 社会参加意識を高め、成果を地域づくりの実践に繋げていく。

- ゆきキッズクラブ・大人の教室
- 伝統文化伝承
- 化石魅力化プロジェクト
- 文芸復興プロジェクト
- 折鶴献呈

□分室「にしかわ」運営

談話室としての利用を維持推進すると共に、更なる利用方法の拡大を図る。

住民主体の各種企画展を開催し、「にしかわ化石館」の運営と共に生涯学習発信の拠点とする。

□その他の事業

自治振興会の運営及び活動支援を行う。

広報紙・HP・11Ch等を通じての情報発信を行う。

協働のまちづくり事業補助を行う。

「ゆきふるさとまつり」を開催する。

多くの「体験」が、子どもたちの成長を支えます。

## 5月のゆきキッズ

今年度も体験活動を通じて、多くの発見や思い出ができれば良いですね。

- お茶教室①（5月10日）  
講師：小田緑先生・神石高原町女性  
会 油木支部の皆さん
- 「端午の節句茶会」を開催しました。今年度最初の「お茶教室」ということで、茶道の細かな作法（茶室入室の所作等）から学びました。
- 料理教室①（5月24日）  
講師：大西智子先生
- 新しい調理室で、班毎に協力しながら「ホットケーキ」作りに挑戦しました。フライパンで生地を丸く焼くのが楽しかったようです。
- 楽描教室①（5月31日）  
講師：若林佐都子先生
- 「段ボール」をちぎって自由な発想で、顔の部位を台紙に貼り付けました。平面から立体的に、いろいろな表情の「顔」ができました。

一体験させよう！一（参考：秋田県教育委員会・秋田県教育庁生涯学習課「家庭教育支援ガイドブック」）

★地域で子どもを見守り育てましょう（油木協働支援センター）

**体験させよう！遊びや読書が育む豊かな人生**

体験活動や読書による「気付き」や「学び」は、子どもの豊かな成長に欠かせません。家庭の外で、人や自然とふれあう遊びや体験活動は、新たな発見や感動を生むだけでなく、社会のルールやマナーを学ぶ絶好の機会でもあります。また、絵本の読み聞かせや家庭での読書活動は、家族間のコミュニケーションを深め親子の絆を育みます。

**読書活動と体験活動の両方が大切です！**

読書活動も体験活動も豊富なほど、未来志向や社会性、自己肯定などが高い傾向にあり、両方行うことが大切です。

高 ← 意識・能力（中学校2年生） → 低

多読書・多体験	60.5	32.3	7.2
少読書・多体験	36.5	42.5	21
多読書・少体験	19	45.3	35.8
少読書・少体験	11.2	32.4	56.6

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

**学齢に相応しい体験があります！**

- 小学校低学年…「友達との関り」「動植物とのふれあい」
- 小学校高学年…「自然体験」「友達との遊び」
- 中学生…「地域活動」「家族行事」「家事手伝い」

出典 国立青少年教育振興機構「子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究」報告書（平成25年2月）